

# 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）

## スタートアップミーティング 議事概要

1. 日 時：令和6年5月8日（水）13時30分～16時00分
2. 場 所：神戸市立中央区文化センター 会議室1001及び1002
3. 概 要
  - （1）開会挨拶 ～ 兵庫県環境部 菅部長
  - （2）議 事
    - 1）大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンスの取組方針について
      - ①大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）の活動内容  
（資料1：大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）の活動内容）  
大阪府（橋田課長）が説明し、質問はなし。
      - ②大阪府におけるブルーカーボン生態系関連事業  
（資料2-1：大阪府におけるブルーカーボン生態系関連事業）  
大阪府（志知課長補佐）が説明し、質問はなし。
      - ③兵庫県におけるブルーカーボン生態系関連事業  
（資料2-2：兵庫県におけるブルーカーボン生態系関連事業）  
兵庫県（加茂班長）が説明し、質問はなし。
      - ④アライアンスの今後の進め方  
（資料3：アライアンスの今後の進め方）  
大阪府（志知課長補佐）が説明。

### 【主な質疑応答等】

- 新たに藻場創出に取り組むにあたって資金面の支援はあるのか。  
（事務局）
  - ・大阪府・兵庫県ともに、今年度、藻場創出の補助制度により支援。
  - ・ブルーカーボン生態系は国内外で注目されており、企業にもメリットがあるものと考えており、積極的に取り組んでいただくことを期待。
  - ・行政としては、継続して資金支援を行うのは難しいため、アライアンスを活用した情報共有や情報発信を行い、事業者の皆様の取組みを支援していきたい。
- 「大阪・関西万博」に関する説明があったが、ブルーカーボン生態系に特化した出展やパビリオンに関する情報があれば教えていただきたい。

**(事務局)**

- ・大阪府としては、大阪ウィークにおいて、ブルーカーボン生態系をテーマとした展示等を検討している。また、一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブと事業連携協定を締結しており、民間パビリオン（ブルーオーシャンドーム）での情報発信も予定している。
  - ・大阪府・市のヘルスケアパビリオンにおいてもブルーカーボン生態系の情報発信の機会を設ける予定。効果的な情報発信につながるよう、会員の皆様からもアイデアやご意見をお願いしたい。
  - ・兵庫県としても、大阪府と同様、情報発信用の動画作成予算を確保している。また、「ひょうごフィールドパビリオン」として、兵庫県内で海が関係する体験型コンテンツもある。そういった体験を通じて、ブルーカーボン生態系の重要性の理解を促していきたい。
- 大阪府の補助事業の実施にあたっては漁業関係者との調整が必要となるが、調整状況はどうか。

**(事務局)**

- ・今年度の事業については大阪府から漁業関係者も含めて関係機関への説明は実施している。
- 令和6年度の大阪府補助事業は、万博会場周辺海域のみを対象としているのか。

**(事務局)**

- ・そのとおり。
- 南港野鳥園周辺護岸でのアマモの育成は可能か。

**(事務局)**

- ・南港野鳥園護岸は傾斜型護岸にテトラポッドが設置されている場所であるため海藻類が中心になるものと想定される。
- 大阪湾奥部は流れが緩やかであり、砂地があれば、アマモ場の創出のポテンシャルはあると思われる。NPO法人を含めて活動したい団体に対して、まずは実証することが可能な場所を提供することが重要ではないか。
  - アライアンス会員には豊富な知見を持つ民間事業者も参画されている。藻場の創出手法も確立し始めている。ブルーカーボン生態系に関する機運を活かして取り組みが加速することを期待している。

**(事務局)**

- ・大阪府としても創出候補地を明らかにすることが重要と考えており、今年度、藻場創出の適地調査を実施し、とりまとめた結果は公表する予定である。
- ・大阪湾でも東西で水環境が大きく異なっている。須磨から淡路島あたりは栄養

塩類が低下してきている。また、海草と海藻でも適地等条件が異なる。まずは、アライアンス会員の認識を共有するため、基礎的な講習の機会が必要ではないか。

- ・ エリアや藻場の種類等によって適切な方法が異なってくるので、場所ごとに分けて議論することも重要である。

## 2) アライアンス会員からの提供資料

### (資料4：アライアンス会員からの提供資料)

アライアンス会員が、自己紹介するとともに、それぞれの取組内容を説明。

#### 【会員からの主な意見】

- ・ アライアンスを通じて、大阪・関西万博に向け、ブルーカーボン生態系に関する取組みについて何ができるか情報収集したい。
- ・ 既に藻場造成等、ブルーカーボン生態系関連の取組を行っており、知見や技術等も有しているため、大阪湾での取組に貢献したい。
- ・ 企業として、全国展開している点を活かして、全国の様々な取組について収集し、アライアンスで共有したい。
- ・ ブルーカーボン生態系関連の知見や実績は有していないが、モニタリング技術などの自社製品等を活用できる可能性があるので、アライアンスに参加し、知見等を深め大阪湾での取組に貢献したい。
- ・ ブルーカーボン生態系関連の取組みについては始めたばかりなので、アライアンスを通して知見等を深めたい。
- ・ 大阪湾での調査研究と地元市と連携して取組みを開始したところ。適宜、情報提供させていただく。
- ・ 漁業関係団体として、ブルーカーボン生態系と水産業の関わりは深いので今後もアライアンスでの取組みに期待したい。
- ・ 大阪湾において、官民連携によるブルーカーボン生態系に関する会議の場が持たれたことは非常に重要である。
- ・ 自治体として、ゼロカーボンシティ実現のためブルーカーボン生態系関連の実証等、フィールドを提供したい。
- ・ アライアンスを通して行政や企業など多様な主体と議論を深めていきたい。

(3) 閉会挨拶 ～ 大阪府環境農林水産部環境管理室 中島室長